

王寺 未来の会 代表 清水つとむ 氏の 推薦決定！



少子高齢化が加速的に進む今、国からの補助金や交付金にしばられた現状のままだと、王寺の自立は到底実現できません！これからの未来のためには、地方がみずから自立することが求められます。

私たちはそのために王寺の未来を明るくする方法を考え、実行することが必要と考えました。

今こそ地域の絆を深め、連携すること、そして子どももお年寄りもみんな安心して暮らせるビジョンが不可欠です。

自立したまち、笑顔あふれる明るい王寺町を創るために、**未来へのビジョン**を提案します。

プロフィール

1952年1月10日生。やぎ座、O型。

4歳と1歳の孫と過ごすことが一番の楽しみ。

昭和42年 王寺中学校を卒業して県立郡山高校へ…

中学・高校時代は吹奏楽部で活躍。

高校卒業後色々経験し、昭和47年に関西大学工学部土木工学科。

音楽好きが高じて昭和52年に卒業。昭和53年、王寺町役場に勤務。

主に下水道事業を担当し、建設部長の時58歳で役場を退職、統一

地方選挙にて王寺町議会議員に初当選。

好きな言葉 「あかんもんはあかん」

地域で必要な事業を 自由に立案できる制度を創る

北小・王小・南小の小学校区に合わせて、今ある自治会を3つにグループ化します。

①久度・舟戸・王寺・葛下1丁目地区

⇒王寺北小学校区

②本町・葛下2～4丁目・山西・畠田地区 ③美しが丘・スカイヒルズ自治会

⇒王寺小学校区

⇒王寺南小学校区

この3つのグループ毎に地域に必要なさまざまな事業を自ら立案、行政に提案・要望を行えるようにします。

3つのグループが個性的で活発な活動をする中で、行政や議会に良い影響が生まれ、地域自立の第一歩にもなります。

将来は、この3校区での「地域自治区」の創設をめざします。

自立した各グループが、住民に密接した行政機能を処理できる窓口組織を備えるようにし、必ず訪れる地方政府組織の大改革時、私たちの暮らす王寺町が混乱することなく移行できるための仕組み創りです。

